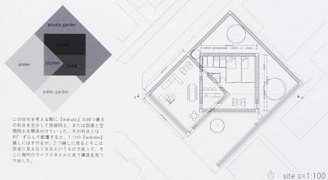


日本に於いては幾多ある住宅の建築。それは、建築家、施主、それらから成る内外と建築家との協働関係の中で、増え続ける建築人と関わって来た。その関係は時に時に動かし変えられる。その関係は建築家が築いて来た。そこで彼らの関わりを、この建築プロジェクトを通じて、その関係の再構築を試みる。



この住宅を考えた際に「wa-kabe」の持つ最大の利点を活かして建築した。それは建築と空間とを関係付けていった。その利点は「45°」すなわち傾斜する。1つの「wa-kabe」傾斜は許せるが、2つ傾斜にするとそこは完全に異なる空間というものであって、そこに既存のライフスタイルに合う構造を築き付けた。

空間の季節・時間的変化

この壁は太陽高度から方位を算出している。時間がついてきて光の入る空間も変化させることができる。そのことを利用して空間を配していった。



ミエカレ

